

## 〔48年産米の大豊作は太鼓判〕

11月2日閣議で報告された48年産水陸稲（10月15日現在調査）の予想収穫量は、水稲1,207万1千トン、陸稲7万7,100トン計1,214万8千トンで、作況指数は水稲106の「良」、陸稲75の「不良」である。

水稲は前回9月15日調査にくらべ、収穫量で10万トン減、作況指数で1ポイント下がったが、大豊作に変わりはなく、余剰米が40万トン（前回は50万トン）にのぼるため、政府は当初方針どおり生産者米価に二段米価を導入する。

作柄は、水稲が前回調査時以降、台風の襲来もなく、全般的に登熟は順調だったが、北海道、東北では登熟前期の過高温と、9月以降の天候不良

で、後期登熟は停滞、また九州は病害虫の被害が発生した。このため10a当たりの収量は470kgと前回の調査より3kg減少した。

一方、陸稲は作付面積の多い関東や東北で干害被害があったため、全体として作柄はよくなかった。

現在、余剰米は40万トンにのぼり、このため、政府は全量を自主流通米で流通させるのが困難と判断しており、生産者米価に二段米価を導入し、余剰米については正規の政府買入価格（60kg当り1万301円）よりあい価格で買入れる方針である。

各都道府県別予想収穫量は次のとおりである。

府 県	予想収穫量 (トン)	作況指数 (平年 対比)			
全 国	12,071,000	106	愛 知	229,200	109
北海道	698,200	114	三 重	230,800	106
青 森	397,500	100	滋 賀	260,000	107
岩 手	434,100	104	京 都	125,200	109
宮 城	560,700	101	大 阪	48,200	106
秋 田	626,000	105	兵 庫	295,800	106
山 形	548,400	103	奈 良	79,300	103
福 島	490,900	103	和歌山	64,000	104
茨 城	438,000	104	鳥 取	120,800	111
栃 木	415,200	106	島 根	180,600	105
群 馬	137,500	111	岡 山	284,700	110
埼 玉	238,400	109	広 島	231,900	107
千 葉	387,000	103	山 口	217,600	110
東 京	4,240	110	徳 島	85,700	109
神奈川	25,000	111	香 川	118,500	105
新 潟	866,500	109	愛 媛	131,800	104
富 山	295,000	101	高 知	85,000	105
石 川	214,200	105	福 岡	381,900	107
福 井	201,200	104	佐 賀	251,900	107
山 梨	48,300	108	長 崎	106,000	107
長 野	336,300	105	熊 本	324,100	104
岐 阜	203,800	108	大 分	190,000	109
静 岡	144,900	108	宮 崎	139,500	102
			鹿 児 島	172,400	104
			沖 縄	5,130	103